



月刊 千葉労働

一致団結して たち向かおう

館山支部大会

12月18日、静海荘において、館山支部第21回大会が開かれた。大会の冒頭、笹生支部長は、

「館山支部はこの間、公労法解雇の撤回をもちとつた地平の上に、恒常的スト体制、JR総連解体、全国にはばたこう運動の三大方針を全組合員の力で闘いぬいた。5・28判決、労基法の改悪、有事立法の制定攻撃など、労働運動解体に向けた攻撃が一挙に強まっているが、館山支部は一致団結してたち向かってきた。情勢を見ても、本部はこれから休ませてはくれないと思う。さらに団結を固めて奮闘しよう」と提起。その後、本部中野委員長の挨拶、議案提起が行われ、熱心な討議ののち満場一致で新年度の方針が決定された。また、併せて乗務員分科会の定期総会が開催され、坂本会長は、「今JRでは、誰もが感じているとおり、一旦ダイヤが乱れたら、いつ正常に戻るとも知れない状態が日常化している。こうした状況は、闘いによってしか打開されない。一人ひとりの組合員のねばり強い抵抗を基礎に、今こそ反合・運転保安闘争の真価を発揮しよう。千葉でも大月と同じような事故が起きており、われわれの労働条件は、

自らの闘いによって奪い取らなければならない」と呼びかけた。

《だされた主な意見》

- 組織拡大に向けた取り組みについて、本部の考え方を聞かせてほしい。
- 菅田の事故に対する処分など、明らかに組合所属による差別がある。また東労組の場合、事故隠しまでやっている。
- 年金の支給年令が上がることもあり、高齢者の雇用や労働条件に関する取り組みを強化してほしい。
- 工場のDL業務の取り組みについて、現状はどうなっているのか。
- 配転者の原職復帰に向けて夏に第三波ストをやると言っていたが、なぜ中止になったのか説明してほしい。
- ユニット明けで17時になるような勤務がある。あまりにも勤務がひどすぎる。
- 輸送混乱時、ほとんど睡眠時間がない状態で、翌日も遅くまで乗務させるようなやり方は問題だ。
- 通勤について、自動車等での通勤を認めているながら、駐車場も使わせない。



【98年度新役員】

支部長	笹生 巨
副支部長	高木 幸雄
書記長	原 一夫
書記次長	鳩飼 良雄
執行委員	石井 智
特 執	福原 克己
	神作 重夫
	塩崎 昭広
	廣瀬 安男
	和田 幸男
	坂本 好昭
会計監査	佐藤 康弘
	鈴木 弘

【乗務員分科会】

会長	坂本 好男
副会長	小沢 智
事務局長	堀江 秀明
委員	近藤 伸二
	梶江 真一
	宇佐美 悦男
	加瀬 恒豊
	都崎 恒夫
	石渡 裕基
会計監査	加瀬 正広

一番強力な 支部体制を！

いすみ支部大会

12月17日、「あすなる」において、いすみ支部第12回定期大会が開かれた。

田中新支部長は、「結成20周年という大事な節目でもあり、いすみ支部として、これまで以上に頑張っていきたい」と決意を表明。終了後には、懇親会がもたれ、いすみ鉄道の現状や物販オルグでの経験など、活発な意見交換が行われた。

【98年度新役員】

支部長	田中 広幹
副支部長	長谷川 勇
書記長	峯嵐 光男
乗務員会長	長谷川 勇
会計監査	末吉 正夫

